

次期岩手県がん対策推進計画（H30～H35）の構成骨子（案）について

1 主旨等

- 国が定める第3期がん対策推進計画の成案時期が本年夏頃と言われており、これを受けての本年度末を目途とした次期岩手県がん対策推進計画の策定に当たっては、作業に支障を来す恐れがあることから、まずは国の直近の検討内容（※）を基本として次期計画の構成骨子（案）を定めることにより策定に向けた作業進捗を図ろうとするもの。

※ 現在、国の第68回がん対策推進協議会（H29.6.2開催）において、総合目標及び分野別施策を抽出した第3期基本計画案（案）が示されている。

- 当該構成・骨子（案）について、本協議会でご了承をいただいた上は、次回の第21回岩手県がん対策推進協議会において、これらの構成に基づく計画本文（たたき台）を作成の上、ご意見等を頂戴することとしたい。

- ・ 構成骨子（案）の項目名や括り等については、本文（たたき台）を作成するための現時点（暫定）の内容であり、今後、本文検討の過程で決定。
- ・ 本文（たたき台）については、今後、国が決定する成案の内容を基本とし、作成時点までに頂いた各関係者等からのご意見や各種データの状況を踏まえて作成。

2 県計画の構成骨子（案）の考え方

- （1） 国が定める第3期がん対策推進基本計画の内容を基本。・・・[がん対策基本法第12条規定]

総じて「がんの予防」をはじめ、「がんの医療」、「がんとの共生」及び「これらを支える基盤の整備」を軸とした体系とし、「全体目標」や「分野別施策」等の内容について、国の基本計画における内容を考慮。

- （2） 国が中心となって推進する施策の内容については、県計画への項目立てを割愛することとするが、今後可能な範囲で本文の中で触れていくことを考慮。

（例：がんゲノム医療、希少がん・難治性がん対策、がん研究など）

- （3） 県条例や県民運動の趣旨等を踏まえ、「県民の参画による取組」等の項目を考慮。

- （4） 計画の構成の流れ（「はじめに」、「本県のがん対策の現状と課題」～）については、現行計画の内容を基調として作成。

3 構成骨子（案）の内容について

→ 別紙のとおり

(1) 主要な課題・・・[現行②→③項目へ構成見直し]

- ア 【継続②】「がん予防・がんの早期発見」、「がん医療の均てん化」
- イ 【新規①】「がんになっても安心して暮らせる社会の構築」

(2) 重点的に取り組むべき事項・・・[現行⑥項目→⑤項目へ構成見直し]

- ア 【継続③】「がんの予防と早期発見」、「がん医療の均てん化」、
「がんと診断された時からの緩和ケアの推進」
- イ 【変更新規①】「がん患者等の就労を含めた社会的な問題」
- ウ 【新規①】「がん対策の取組を支える基盤づくり」

(3) 全体目標・・・[現行③→④項目へ構成見直し（概ね国の計画に準拠）]

- ア 【新規③：定性目標】「科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実」
「患者本位のがん医療の実現」
「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」
- イ 【継続①：数値目標】「がんによる死亡者の減少」

(4) 分野別施策・・・[現行⑧→④項目へ構成見直し（国の計画に準拠）]

- ア 【構成見直し①】「がんの予防」
 - (がんの1次予防)
 - (がんの早期発見・がん検診（2次予防）)
- イ 【構成見直し①】「がん医療の充実」
 - (医療提供体制の充実と医療連携体制の構築)
 - (がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成及び確保)
 - (多職種の協働によるチーム医療の推進)
 - (小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん)
 - (がん登録)
- ウ 【新規①】「がんとの共生」
 - (がんと診断された時からの緩和ケアの推進)
 - (相談支援及び情報提供)
 - (がん患者等の就労を含めた社会的な問題)
 - (患者会等活動の充実)
 - (地域社会におけるがん患者支援)
 - (ライフステージに応じたがん対策)
- エ 【新規①】「がんの予防・医療、がんとの共生を支える基盤の整備」
 - (がん医療に携わる人材の育成)
 - (がん教育・がんに関する知識の普及啓発)
 - (県民の参画や取組の促進)